

自己評価報告書（2020年度）

洗足学園小学校

1. 学校教育目標

- ・なにごととも自分で考えて行動のできる子
- ・大きな夢を持ち、粘り強くがんばる子
- ・人のためになることをすすんでできる子

2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- ・学力の充実を図り、信頼される学習指導と進路指導をおこなう。
- ・児童会や委員会活動を活発にし、児童の主体性をさらに育む。
- ・ICTを活用している他校と情報交換を進め、さらなる可能性を探る。
- ・ICTを活用した、児童が自ら学ぶ学習を進める。
- ・総合的学習の一環であるたてわり活動を通じて思いやりの心を育む。

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none">・休校期間中、ICTを活用しオンライン授業をすすめた。・オンライン授業により、カリキュラムの遅れなくすすめた。・全教科、全学年のシラバスを用意し、保護者に配付した。・一人一台のiPadを活用し、児童の主体的な学びを深めた。・教員間で指導法、ICT活用法の情報共有をすすめた。・「日記漢字」「筆算検定」など本校独自の取り組みで、基礎学力の定着に努めた。
進路指導	<ul style="list-style-type: none">・進路サポートルームを放課後に開放し、児童の進路相談や自習に活用することができた。・6年保護者に進路面談をおこない、適正な進路についてアドバイスをおこなった。・中学受験終了後、体験のレポートを6年生児童と保護者から提出してもらい、次年度以降への参考資料に加えた。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・マナー教育を進め、自覚ある行動がとれるよう指導した。・児童会が、自らの学校生活の問題点を考え、その解決を図った。・臨床心理士の資格を持つ「スクールカウンセラー」を配置し、教育上配慮の必要な児童の保護者との面談、児童本人とのカウンセリングをおこなった。・「スクールカウンセラー」から、配慮の必要な児童への関わり方についての助言を受けて指導に生かした。

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校安全管理マニュアル」を作成し、教職員に周知した。 ・避難訓練（2回）を実施した。 ・登下校の見守り活動をおこなった。 ・登下校マナーについて、周知徹底をすすめた。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・8月と3月に校内研修をおこない、ICTの活用法について外部指導者から指導を受けた。 ・オンラインセミナーなどに積極的に参加した。 ・電子黒板、iPadの活用法の研修を校内において随時おこなった。 ・11月にADS（アップル認定校）として、Open Dayをオンラインで開催し、本校の取り組みを紹介した。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便り、学年便りを月に1回発行し、連絡事項の徹底と教育方針の周知に努めた。 ・ホームページで、「先生からのレポート」として、各種行事の写真や児童のコメントなどを発信した。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の改修をおこない、新たに2台のプロジェクターとホワイトボードを設置した。これによってICT化をさらにすすめることができた。 ・2年生～5年生に一人一台のタブレット端末を持たせた。 ・学校備品のipadを80台に増やした。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全校たてわり活動を進め、たてわり遠足を実施した。 ・種々の制約がある中で、オーケストラの演奏会を冬に開催した。 ・情操教育の一環として、音楽鑑賞会をおこなった。

4. 総合的な評価結果

<p>ICTの活用に関する教員のスキルが、飛躍的に向上した。教室の改修もあり、ICTを活用した学習や教科指導について、その効果が上がっていると評価される。また、ICTに関する研修も積極的におこなった。また、他校や教育関係者に本校の取り組みを紹介した。進路指導も例年同様の取り組みをおこない、進学実績において過去と比較して優れた実績をあげることができた。</p> <p>児童会の活動が定着し、児童の自主的な活動の幅がさらに広がった。また、たてわり活動も充実し、より異学年の交流を活発にすることができた。児童の責任感やリーダーシップを培い、思いやりの心を育むことができた。</p> <p>入学試験では、過去最高の出願者があり、高倍率の入学試験がおこなえた。これは、本校の教育内容が高く評価されている証左と考える。</p>
--